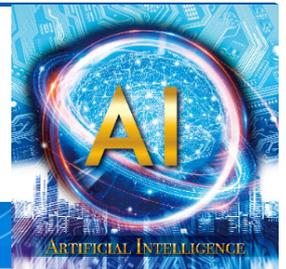




グローバルA Iファンド
 グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）
 グローバルA Iファンド（予想分配金提示型）
 グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）



DXの加速により、ますます重要性が高まるAI

平素より「グローバルA Iファンドシリーズ*」（以下、当シリーズ）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。本資料では当シリーズの実質的な運用を担当するアライアンス・グローバル・インベスターズU.S.LLC（以下、アライアンスGI）からの情報を基に、足元の運用状況や今後の成長が期待される銘柄などについてご紹介いたします。

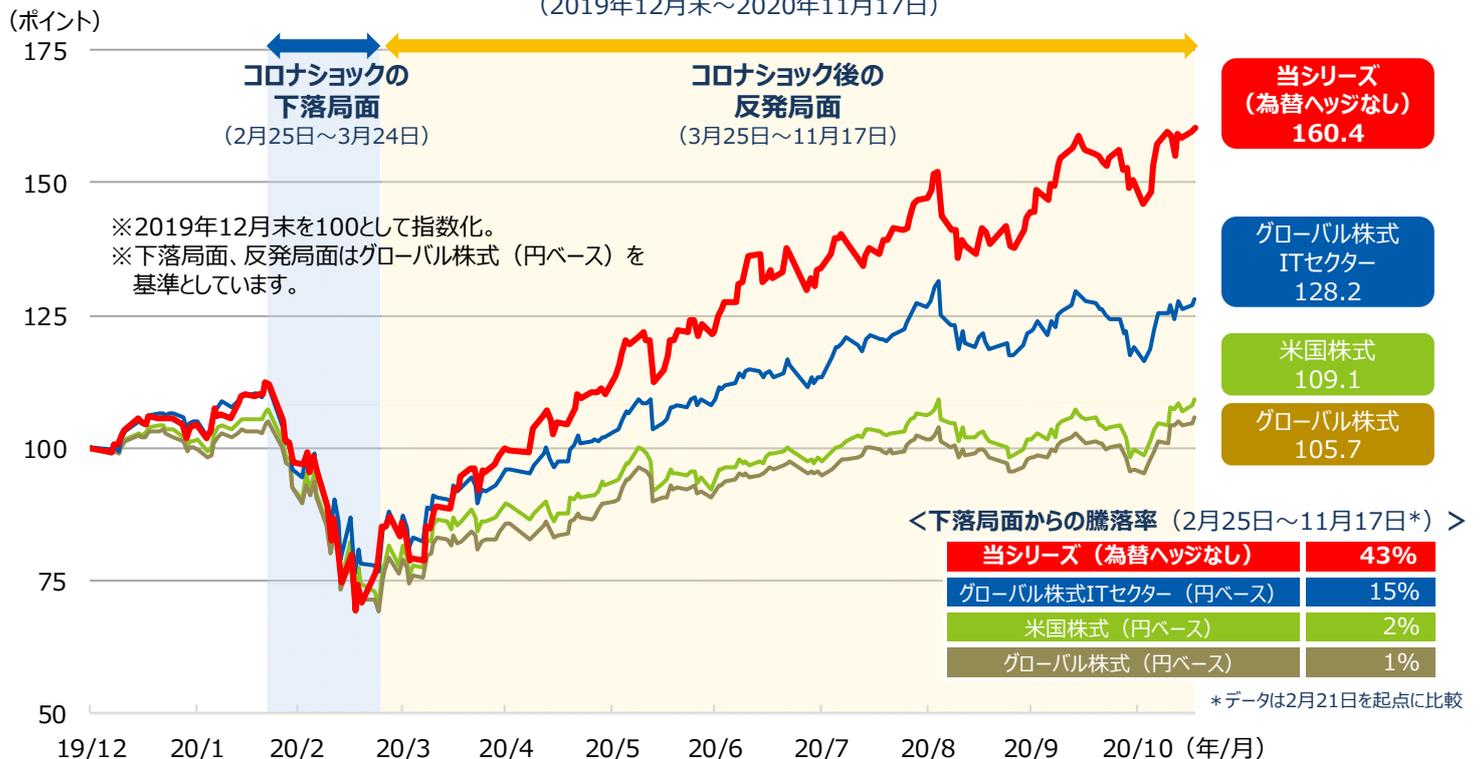
*「グローバルA Iファンドシリーズ」とは、同じマザーファンドに投資を行う「グローバルA Iファンド」、「グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）」、「グローバルA Iファンド（予想分配金提示型）」、「グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）」の4ファンドの総称です。
 ※以下、「グローバルA Iファンド」を（為替ヘッジなし）、「グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）」を（為替ヘッジあり）、「グローバルA Iファンド（予想分配金提示型）」を（為替ヘッジなし予想分配金提示型）、「グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）」を（為替ヘッジあり予想分配金提示型）とすることがあります。

コロナショック後は相対的に良好なパフォーマンスが継続

- 当シリーズ（為替ヘッジなし）の基準価額は、コロナショック以降の反発局面（11月17日まで）において、コロナショック前の水準を上回っています。
- 新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、さまざまな業界、企業でDX*（デジタル・トランスフォーメーション）が加速するなか、AIの重要性が増しており、今後も相対的に良好なパフォーマンスが継続することが期待されます。

*DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、デジタルによるビジネスの変革を意味しています。

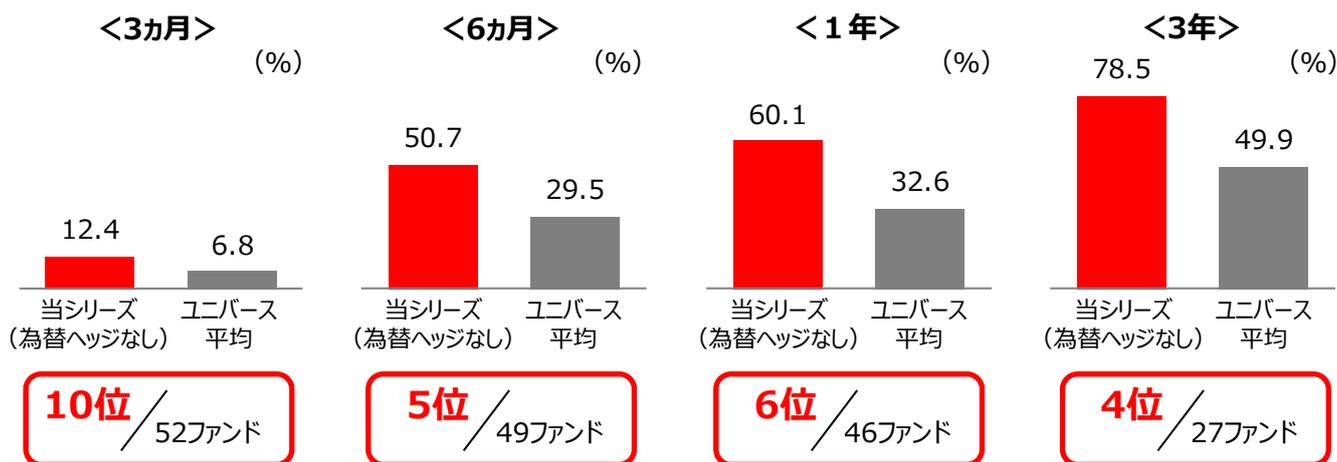
<2020年初来の当シリーズ（為替ヘッジなし）とグローバル株式等（円ベース）の推移> （2019年12月末～2020年11月17日）



(注1) 当シリーズ（為替ヘッジなし）の推移と騰落率は、税引前分配金再投資基準価額（信託報酬控除後）より算出。税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。また、その騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。
 (注2) グローバル株式はMSCI AC World Index（配当込み）。グローバル株式ITセクターはMSCI AC World IT Index（配当込み）。米国株式はS&P500種指数（配当込み）。各インデックスはいずれも当シリーズのベンチマークではありません。
 (注3) 当シリーズの基準価額算出時の外貨建て資産の円換算には、基準価額算出日の為替レートを使用しています。そのため、上記グラフの各インデックスについてはこの計算方法に沿って、基準価額算出日前日の指数値と、基準価額算出日の為替レートから円換算値を算出し指数化しています。
 (出所) Bloombergのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しであり、当シリーズの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。見通しは今後、予告なく変更する場合があります。※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは12ページをご覧ください。

パフォーマンスの比較（2020年10月末現在）



(注1) 当シリーズ（為替ヘッジなし）の騰落率は、税引前分配金再投資基準価額（信託報酬控除後）より算出。税引前分配金再投資基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。また、その騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

(注2) 比較対象のユニバースは、国内籍公募投資信託のうち、FundMarkによる分類で当シリーズ（為替ヘッジなし）と同じ分類（大分類：海外株式、中分類：業種・テーマ、小分類：テクノロジー（為替ヘッジなし））のファンドです。各期間のユニバース平均は、同分類に属するファンドのパフォーマンス（信託報酬控除後）の平均です。ユニバースに含まれるファンドの信託報酬等のコストはファンドにより異なります。なお、当シリーズ（為替ヘッジなし）は世界（日本を含む）の株式を投資対象としています。

(出所) FundMarkのデータを基に委託会社作成

パフォーマンスへの寄与度（2020年8～10月、マザーファンドベース）

寄与度上位5銘柄					寄与度下位5銘柄				
順位	銘柄名	平均組入比率	リターン	寄与度	順位	銘柄名	平均組入比率	リターン	寄与度
1	スナップ	3.4	76	2.5	1	オーバーストック・ドットコム	3.1	▲ 26	▲ 0.7
2	テスラ	6.1	36	1.7	2	アルテリックス	0.8	▲ 29	▲ 0.6
3	ロク	5.7	31	1.6	3	スラック・テクノロジーズ	2.6	▲ 13	▲ 0.5
4	スクエア	4.0	19	0.7	4	スプラック	3.5	▲ 6	▲ 0.2
5	クラウドストライク・ホールディングス	2.9	9	0.6	5	レンディングツリー	1.3	▲ 7	▲ 0.2
上位5銘柄合計				7.1	下位5銘柄合計				▲ 2.1

スナップ、テスラ、ロクなどの組入上位銘柄が大きくプラス寄与した一方、マイナス寄与は相対的に小幅にとどまりました。

(注1) 寄与度は各銘柄の米ドルベースのトータルリターンがマザーファンドの米ドルベースの基準価額に与えた影響度の概算値。四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

(注2) 平均組入比率は、2020年8月から10月におけるマザーファンドの純資産総額に対する各銘柄の組入比率（日次）の平均です。

(出所) アリオンツギのデータを基に委託会社作成

今後の運用方針

- 新たなイノベーションを生み出すためにAIを活用し始める企業が増えています。DXを加速させるため、今後、より多くの業界のさまざまな事業でAIに関するプロジェクトが展開されると予想します。
- AIがもたらすイノベーションは、より大きく長期的な株主価値の創造をもたらすと考えています。このような投資環境においては、銘柄選択が重要な鍵となるため、引き続き大きな成長機会を有する魅力的な銘柄の発掘に注力します。

※上記は2020年10月末現在におけるマザーファンドの保有銘柄であり、当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

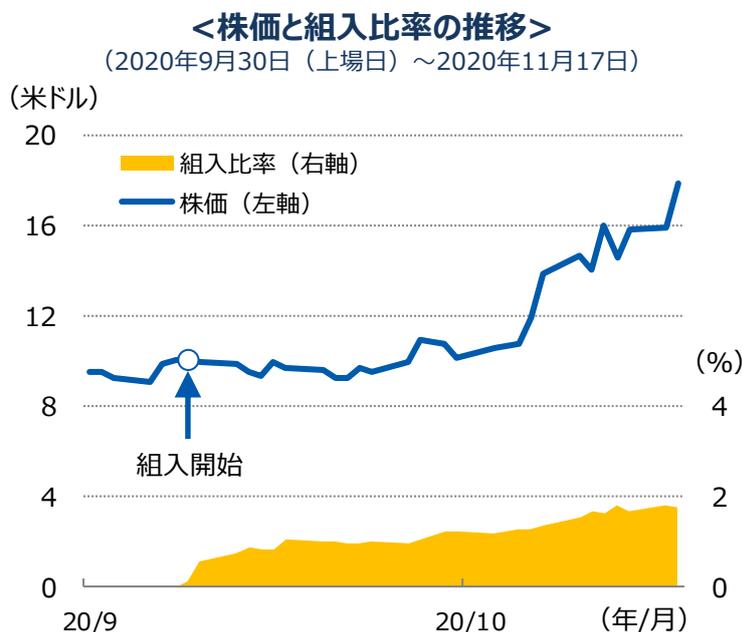
※上記は過去の実績および当資料作成時点の運用方針であり、当シリーズの将来の運用成果および当該銘柄の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。運用方針は今後、予告なく変更する場合があります。

新規組入銘柄／注目銘柄のご紹介

パランティア・テクノロジーズ（2020年10月組入開始）

国・地域	米国
業種	情報技術
組入比率	1.8%

- 大規模なデータ分析を可能にするソフトウェア・プラットフォームを開発しています。
- 企業や政府の意思決定をより迅速にするためのAIソリューション開発に同社のプラットフォームが活用されています。
- 以前は政府機関向けビジネスが中心であったため、利益成長が緩やかでしたが、3～4年前から事業を拡大し、民間企業にもソフトウェアが広く採用されるようになったことにより、過去2年間加速度的な成長を遂げています。



スナップ（2020年8～10月のパフォーマンス寄与度 1 位銘柄）

国・地域	米国
業種	コミュニケーション・サービス
組入比率	4.6%

- 米国のソーシャルメディア・サービス企業です。
- 友人同士などで、数秒で消えてしまう写真や動画（スナップ）を送りあい、チャットが楽しめるサービスを提供しています。
- 画像や動画に関連したさまざまな機能にAIを積極的に導入しています。
- 若い世代からの高い支持や、コンテンツの充実を図る企業努力も実を結び、ユーザー数が増加しており、今後も収益の拡大が期待されます。
- 株価は堅調に推移しており、8～10月のパフォーマンスへの寄与度が 1 位となりました。



（注1）業種はGICS（世界産業分類基準）セクター分類。

（注2）各銘柄の組入比率は2020年11月17日現在、マザーファンドの純資産総額を100%として算出。

（出所）Bloomberg、アリアンツGIのデータを基に委託会社作成

※上記は2020年11月17日現在におけるマザーファンドの保有銘柄であり、当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。
 ※上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しであり、当シリーズの将来の運用成果および当該銘柄の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。見通しは今後、予告なく変更する場合があります。

トピック：AIがDXをサポート



セバスチャン・トーマス氏

マザーファンドの運用を実質的に担当する
アリアンツGIのファンドマネージャー

<ポイント>

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、さまざまな業界、企業でDXが加速中。
- DXによる顧客サービスの強化にはAIの活用が不可欠。
- 既に多くの企業でAIを活用し、顧客満足度を向上させるための新たなサービスが進行中。
- AIを有効に活用できた企業には更なる成長の機会があると期待。

DXによる顧客サービスの強化にはAIの活用が不可欠

- 新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、多くの企業でデジタル技術を活用した、新たな顧客エンゲージメント（信頼関係）の構築が急務となっています。
- それに伴い、各業界、各企業でDX（デジタル・トランスフォーメーション）を強化する動きがみられますが、DXによる顧客サービスの強化にはAIの活用が不可欠であるといえます。
- 例えば、AIによる購入履歴分析や行動追跡により、企業は顧客に高度にパーソナライズされたサービスを提供することが可能となり、顧客の定着率と満足度を高めることができます。
- また、AIを搭載したチャットボットを導入すれば、企業は24時間365日カスタマーサービスの提供が可能になり、運用コストや人件費を削減できます。

<チャットボットとは？>

- テキストや音声を通じ、ユーザーとの会話を自動的に行うプログラムのことです。
- チャットボットは1960年代から存在しますが、多くはAIを搭載せず、予め用意されたシナリオに基づいて応答する「シナリオ型」でした。
- 近年は、学習により複雑な受け答えが可能となる、「AI搭載型」が多数登場しています。



※写真はイメージです。

さまざまな業界でAIを活用した顧客満足度向上のための新サービスが進行中

- AIを活用した顧客サービスに取り組む具体的な事例をいくつかご紹介すると、
 - ロクやネットフリックスなどの革新的なメディア企業では、AIを活用して顧客からの反応を学習し、コンテンツライブラリを改善しています。
 - トリップアドバイザーやブッキング・ホールディングスなどの旅行会社ではAIを活用して、顧客の行動を長期的に把握し、顧客ごとにパーソナライズされた旅行プランを提供することで、売上の向上を目指しています。
 - フェイスブックやスナップなどのソーシャルネットワーキング企業では、投稿されたコンテンツやコメントの意味の解釈にAIを利用し、悪意のあるコンテンツの削除や、プライバシーの保護をしています。また、AIによる分析で、ユーザーに関連性の高い情報や広告を提示することで、ユーザーエクスペリエンス（体験）を向上させています。
- AIを有効に活用し、顧客サービスの向上につなげた企業には更なる成長の機会があると期待しています。

（出所）アリアンツGI、各種資料を基に委託会社作成

※上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しであり、当シリーズの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。見通しは今後、予告なく変更する場合があります。

※個別銘柄に言及していますが、例示を目的とするものであり、当該銘柄を保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

ポートフォリオの概要（2020年10月末現在、マザーファンドベース）

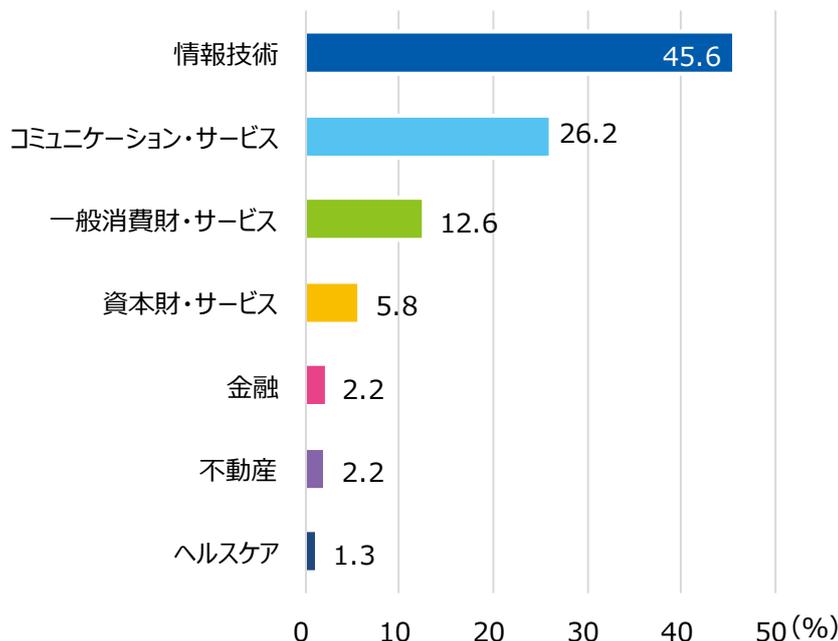
組入上位5カ国・地域（%）

順位	国・地域	構成比率
1	米国	89.0
2	オランダ	2.6
3	日本	1.6
4	台湾	1.1
5	フランス	1.0

規模別構成比率（%）

大型株式	45.4
中型株式	37.7
小型株式	7.6
その他	5.2

業種別構成比率（%）



組入上位10銘柄（%）

組入銘柄数：65

	銘柄名	国・地域	業種	構成比率
1	ロク	米国	コミュニケーション・サービス	6.4
2	テスラ	米国	一般消費財・サービス	5.7
3	スナップ	米国	コミュニケーション・サービス	5.4
4	スクエア	米国	情報技術	3.7
5	スプラク	米国	情報技術	3.7
6	スラック・テクノロジーズ	米国	情報技術	3.3
7	フェイスブック	米国	コミュニケーション・サービス	3.2
8	マーベルテクノロジーグループ	米国	情報技術	2.8
9	ウォルト・ディズニー	米国	コミュニケーション・サービス	2.6
10	ゼネラル・エレクトリック	米国	資本財・サービス	2.5

（注1）各構成比率はマザーファンドの純資産総額を100%として算出。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類。規模別は、MSCI AC WorldインデックスのLarge Cap、Mid Cap、Small Capインデックスに基づく分類です。その他はいずれのインデックスにも含まれない銘柄です。

（出所）アリアンツGIのデータを基に委託会社作成

基準価額と分配金の推移①

(為替ヘッジなし)

(2016年9月9日(設定日)～2020年11月17日)



(為替ヘッジあり)

(2017年2月10日(設定日)～2020年11月17日)



(注) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。分配金は1万口当たり、税引前。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配を保証するものではありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは12ページをご覧ください。

基準価額と分配金の推移②

(為替ヘッジなし予想分配金提示型)
(2019年10月7日(設定日)～2020年11月17日)



(為替ヘッジあり予想分配金提示型)
(2019年10月7日(設定日)～2020年11月17日)



(注) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。分配金は1万口当たり、税引前。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果および分配を保証するものではありません。分配金額は委託会社が分配方針に基づき基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは12ページをご覧ください。

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにいうことがあります。

グローバルAIファンド	：（為替ヘッジなし）
グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）	：（為替ヘッジあり）
グローバルAIファンド（予想分配金提示型）	：（為替ヘッジなし予想分配金提示型）
グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）	：（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

1. グローバルAIエクイティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界の上場株式*の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
 - AIテクノロジーの開発のほか、AIの開発に必要なコンピューティング技術、AIを活用したサービス、ソフトウェア・アプリケーションの提供を行う企業や、AIを活用したサービスを駆使して自社ビジネスを成長させる企業等に投資を行います。
 - AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略です。人間のように自ら学び発達していくコンピューター・プログラムをさします。

* 上場株式には、不動産投資信託（REIT）も含まれます。
2. AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLCが実質的な運用を行います。
 - マザーファンドの運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ）に運用の指図に関する権限の一部を委託します。同社は、ドイツのアリアンツ・グループ傘下の運用会社です。
3. 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし） / （為替ヘッジなし予想分配金提示型） / （為替ヘッジあり） / （為替ヘッジあり予想分配金提示型）の4つのファンドからご選択いただけます。
 - （為替ヘッジなし）、（為替ヘッジなし予想分配金提示型）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - （為替ヘッジあり）、（為替ヘッジあり予想分配金提示型）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。

※一部の通貨については、他の通貨を用いた為替ヘッジを行う場合があります。直物為替先渡取引（NDF）を利用することもあります。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
4. （為替ヘッジなし予想分配金提示型）、（為替ヘッジあり予想分配金提示型）は、毎月の決算時に分配方針に基づき分配を行います。
 - 原則として、毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
 - 各計算期末の前営業日の基準価額（支払済み分配金（1万口当たり、税引前）累計額は加算しません。）に応じて、原則として、以下の金額の分配を目指します。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※ 分配対象額が少額な場合、各計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。

<ご留意いただきたい事項>

- 基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。
- 基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。
- 分配を行うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。
- あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほか、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（為替ヘッジあり）（為替ヘッジあり予想分配金提示型）については、実質外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行うため、為替の変動による影響は限定的と考えられます（ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。）。なお、一部の実質外貨建資産の通貨に対し他の通貨による為替ヘッジを行う場合があります。その際、通貨間の値動きが異なる場合には十分な為替ヘッジの効果が得られないことや円と他の通貨との為替変動の影響を受けることがあります。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- （為替ヘッジあり）（為替ヘッジあり予想分配金提示型）為替取引を行う場合、直物為替先渡取引（NDF）を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、当該取引において、取引先リスク（取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと）が生じる可能性があります。
- ファンドが活用する店頭デリバティブ取引（NDF）を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要となる場合があります。その場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣化する可能性があります。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

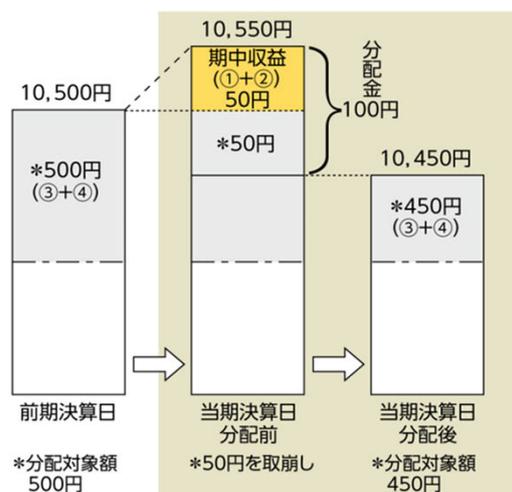
ファンドで分配金が
支払われるイメージ



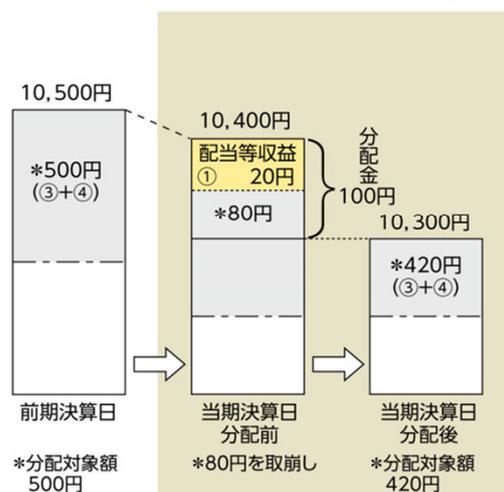
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

[前期決算日から基準価額が上昇した場合]



[前期決算日から基準価額が下落した場合]



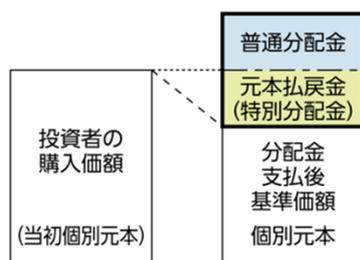
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

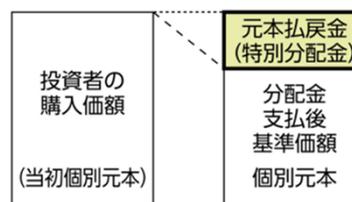
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

[分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合]



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

[分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

(為替ヘッジなし)

2026年9月25日まで (2016年9月9日設定)

(為替ヘッジあり)

2026年9月25日まで (2017年2月10日設定)

(為替ヘッジなし予想分配金提示型) (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

2026年9月25日まで (2019年10月7日設定)

決算日

(為替ヘッジなし) (為替ヘッジあり)

年1回 (毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日)

(為替ヘッジなし予想分配金提示型) (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

毎月25日 (休業日の場合は翌営業日)

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、以下のファンドの間でスイッチングを取り扱う場合があります。

- (為替ヘッジなし)
- (為替ヘッジあり)
- (為替ヘッジなし予想分配金提示型)
- (為替ヘッジあり予想分配金提示型)

※ (為替ヘッジなし)、(為替ヘッジあり)、(為替ヘッジなし予想分配金提示型)、(為替ヘッジあり予想分配金提示型) については、当該ファンドの投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料

購入価額に**3.30% (税抜き3.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額

ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）

ファンドの純資産総額に**年1.925% (税抜き1.75%)**の率を乗じた額です。

○ その他の費用・手数料

以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。

- 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
- 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
- 資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	<p>ファンドの運用の指図等を行います。</p> <p>三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号</p> <p>加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p> <p>ホームページ： https://www.smd-am.co.jp</p> <p>コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）</p>
受託会社	<p>ファンドの財産の保管および管理等を行います。</p> <p>株式会社りそな銀行</p>
販売会社	<p>ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。</p>
投資顧問会社	<p>マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。</p> <p>アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC</p>

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先一般社団法人 取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○		○	○		※1
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
スター証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号	○					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○	○				
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○					※2
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○					
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長（登金）第2号	○			○		
株式会社南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第15号	○					

備考欄について

- ※1：「グローバルAIファンド」、「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」、「グローバルAIファンド（予想分配金提示型）」のお取扱いとなります。
 ※2：「グローバルAIファンド（予想分配金提示型）」のみのお取扱いとなります。

「モーニングスターアワード・ファンドオブザイヤー 2018」について

「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」は、2019年2月1日に発表された「モーニングスターアワード・ファンドオブザイヤー 2018」において、優秀ファンド賞（国際株式型（グローバル・含む日本）部門）を受賞いたしました。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2018年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型（グローバル・含む日本）部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド340本の中から選考されました。

Morningstar Award“ Fund of the Year 2018”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。
- 当資料に評価機関等の評価が掲載される場合、当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

作成基準日：2020年11月17日